

### 第3回みえの子ども「夢☆実☆現」応援プロジェクト応募シート一覧

番号	学年	プロジェクトタイトル	なぜこの夢を実現したいのか	取組内容
1	小5	忍者修行で忍者小学生	超人的な身体能力で戦国時代に活躍していた忍者は、日常の修行や鍛錬で身体や心を鍛えたと知りました。学校の体育の授業で忍者が行っていた修行をすれば、身体能力が高くなり、これまで出来なかったことや新しいことへの挑戦が出来るようになると思いました。それと、生まれ育った忍の里伊賀をもっとたくさんの方に知ってもらいたいからです。	①忍者に関心のある仲間を集める ②忍者について研究されている方から忍者が行っていた修行方法を学ぶ ③それぞれの修行方法が身体におよぼす影響や効果を専門の方に確認する ④学校の体育の授業で取り入れられそうな修行方法を体育の専門家の方に相談し内容を作成する ⑤学校の先生方に紹介して授業で採用してもらう
2	中1	三重の地で願いを込めたスカイランタン	ディズニー映画“塔の上のラプンツェル”を見て、スカイランタンが夜空に打ちあがる幻想的な景色を見たいと思いました。発祥の地であるタイ・チェンマイのコムローイ祭りでは多くのランタンが夜空に舞いますが、無病息災などの願いを込める儀式だと知り、コロナウイルスの収束の願いを込めてランタンを三重の空に飛ばしたいと思っています。	①これまで開催されてきた実行委員会の方に方法や問題点等を確認し相談する ②企業の方や地域で催事を計画している方とお逢いし、ご協力頂ける方を探す ③ご協力頂ける方々と開催に向けて相談や検討を行う (打上げ当日は打上げ地域の方に電気を消してもらえるように依頼する) ④SNSやメディアで参加者を募る ⑤打上げに向けての準備を行い当日を迎える
3	高3	ハンドベルの音色でコロナに打ち勝つ！！	演奏機会が激減してしまったため	新型コロナウイルス流行以前は幼稚園・小学校などの教育機関や、老人ホームなどの福祉施設からご依頼をいただき、幅広い年代の方にハンドベルの演奏を聴いていただきました。 しかし、コロナ禍により昨年度の演奏依頼は0件。創部以来初の出来事で部員一同困惑しました。今年度も開催を自粛せざるを得ず、高校3年生の最後の発表の場であり、私たちの目標でもあった中部フェスティバルが中止となってしまいました。 ですが、これまで行ってきた私たちの練習を無駄にしたい。また、いつ終息するかわからない昨今の状況の中で医療従事者の方をはじめとする、演奏を聴くことができなくなってしまった方々に私たちの音色を届けたい。私たちの音色で多くの人を笑顔にしたい。そのような思いから演奏を撮影し配信する取組を行います。

番号	学年	プロジェクトタイトル	なぜこの夢を実現したいのか	取組内容
4	高3	カカオ豆からGlocal (グローバル)！！	<p>私たちが思いを馳せる遠い地ウガンダと、地元三重県をつなぎ、グローバルな社会を作りたい！！</p>	<p>あまくておいしいチョコレート。平和な国に住む子どもなら、一度は必ず食べたことのあるお菓子です。美味しいものは、年齢や国籍を問わず、食べた人みんなを幸せにしてくれます。そんなお菓子を食べたことのない子どもたちがいること、しかも実際にカカオ豆を栽培している国に多いことを私たちが知ったのは中学3年生の時でした。この子たちにチョコレートの美味しさを知ってほしい、私たちが日々味わっている幸せを感謝したい、そんな思いをもって、アフリカの公用語であるスワヒリ語でINAANZA(始まり)と団体名を名付け、活動を始めました。</p> <p>まずはこうした現実を多くの人に知ってもらうためにプレゼンテーションの場で子どもから大人までたくさんの人と思いを共有したり、地域のお菓子屋さんでカカオ豆からチョコレートを作るワークショップを開催したりしてきました。そんな中で私たちが大きく将来の目標として掲げたのは、ウガンダと私たちの地元三重県が共に活性化していくグローバルな社会を作ること、そのためにグローバル商品の開発を第一の目標に決めました。</p> <p>しかし、コロナ禍により活動は停滞、ウガンダへ行くことはもちろん、三重県内での活動も難しくなりました。しかし、そこで活動をやめてはいけないと、ウガンダへマスクを届ける助け合いマスクプロジェクトと題し、学校、三重県のNPOセンター、全国新聞、SNSなどで呼びかけをしました。結果は予想をはるかに超え、最終的に10000枚を超えるマスクをウガンダに送ることができました。集まっても100枚ほどかな...という思いで始めたこのプロジェクト、成功したのは、私たちの言葉をきっかけに心を動かし、遠いウガンダの地に思いを馳せてくれた、年齢や国籍の関係ない多様な人たちのおかげでした。学校では、顔も知らない中学生の子がマスクを届けてくれました。ある方は、フォロワー数15人の私たちのSNSを見た、1500枚のマスクを大きな段ボールに詰めて北海道から送ってくれました。そして全国から、たくさんの方が心温まるお手紙を添え、マスクを送ってくれました。私たちの言葉は伝わる。このまま活動を終わてはいけぬ。そう確信できたプロジェクトでした。</p> <p>だから私たちは、ウガンダと地元が共に発展していけるよう、ウガンダのカカオ豆と地元の食材を合わせたグローバル商品を開発したいと思います。具体的には、三重の特産品である菜花を取り入れたり、伊賀組紐をパッケージに用いたりしたいと思います。そのために、夢実現応援プロジェクトでこの取り組みを広げ、たくさんの方々の多様な人たちと繋がっていき、ウガンダと地元三重県をつなぐ団体になっていきたいと思ひます。</p>

番号	学年	プロジェクトタイトル	なぜこの夢を実現したいのか	取組内容
5	高2	高校生がまちも人もつないで明るくしたいイルミネーションプロジェクト	コロナ過でも、まちを少しでも明るくできたらと思って考えました。飾る楽しみと見る楽しみを一緒に体感できればと思います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【イルミネーションを見て楽しむ】 高校生ができる地域活性化策として、公園などをイルミネーションで飾ると、地域の人たちが集まってくるのではないかと思います。</li> <li>・【イルミネーションを飾って楽しむ】 イルミネーションで飾る作業自体も、できれば地域の人と一緒にやれば、世代を超えて新しい人のつながりができると考えた。</li> <li>・コロナ禍で、地域でのイベントも難しいなか、【イルミネーションを飾って楽しむ】→【イルミネーションを見て楽しむ】ことが緩やかに集まってできれば、まちも人も明るくできるのではないかと考えた。</li> <li>・神戸高等学校がある神戸地域、または昨年からイベントなどを通じてまちを元気にする取組と一緒にしている加佐登地域のどちらかで行いたい。</li> <li>・神戸地域：神戸公園、加佐登地域：鈴鹿フラワーパークが候補。</li> <li>・イメージは、すわ公園交流館で毎年冬に開催しているイルミネーションイベント。</li> </ul>
6	高2	人気YouTuber×高校生が三重県の魅力を発信してみた	私たち放送部員にとってあこがれの先輩であるぶんけいさんと番組制作を通じてノウハウを学びたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校時代放送部だったぶんけいさんは、現在映像制作会社のCEOであり、またYouTuberとして活躍されています。</li> <li>・放送部が目標とするNHK杯全国高校放送コンテストで公式サポーターを務めるぶんけいさんとは、私たちの先輩(去年卒業)が全国大会の会場の前で少しだけお話しできたそうです。</li> <li>・放送部員にとって憧れの先輩であるぶんけいさんと一緒に、若い世代の視点で三重県の魅力を発見し、それを伝える動画を制作して公開したいと考えています。</li> <li>・企画・出演は、ぶんけいさんと私たち放送部員。Zoomでミーティングを重ねます。</li> <li>・三重県の魅力を見つける旅と一緒に出ます。</li> <li>・制作は放送部、ぶんけいさんに複数回助言をしていただきたいです。</li> <li>・完成した番組をYouTubeで発信します。</li> <li>・～11月：企画→12月：撮影→1月から2月：編集→3月：完成</li> </ul>

番号	学年	プロジェクトタイトル	なぜこの夢を実現したいのか	取組内容
7	中3	歴史の雑誌を創刊したい！	現代の中・高等学校生の中で、歴史を苦手としている人が多いということを知り、歴史の面白さを多くの中高生に知ってもらいたいと考えたから	<p>私たちは、中・高等学校生に心がおどるような本を作りたい。今の学生の現状を知っている私たちの視点から、何をどのように伝えれば受け手がつまらないと考えている歴史に興味を持ってもらえるかが分かりやすいからだ。また、受け手の傾向から考えても受け取り口を増やすという意味合いからもさまざまな時代・分野(政治・文化など)から各人の長所を生かした多様な切り口から本を構成してゆきたい。その中身としては、実際の場所に行き、取材をした写真や図などが多く取り入れられた特集記事(例:「日本の副王」三好氏の史跡をめぐる)といったものから各人の意見を思う意見を発表するまるで戦前の総合雑誌のような評論や、少し気軽に読むことのできる記事(例:文化としての「家」)などのallレベル、allジャンル、どのようなところからも読めるようなものとして目標を達成してゆきたい。</p> <p>また、完成したものは、学校内外で頒布することによって、さらによいものに作り上げたり、たくさんの中高等学校生に歴史に興味を持たせたりしたい。</p> <p>ぜひ協力をお願い致します。</p>